

令和5年11月分 清水税関支署管内 貿易概況（速報）の要旨

1. 清水港

輸出総額は1,991億円（対前年同月比6.5%の減少、比率ベース：2ヵ月連続の減少）、輸入総額は1,176億円（同11.9%の減少、8ヵ月連続の減少）であった。差引額は815億円（同2.5%の増加）の輸出超過となった。

品目別では、輸出は「自動車の部分品」、「二輪自動車類」などが増加したものの、「無機化合物」、「加熱用・冷却用機器」、「電気計測機器」などは減少した。輸入は「その他の採油用種子」、「事務用機器」などが増加したものの、「魚介類及び同調製品」、「液化天然ガス」、「がん具及び遊戯用具」などは減少した。

地域別では、輸出は「アジア」、「EU」、「アメリカ」が減少した。輸入は「アジア」、「アメリカ」、「EU」が減少した。

区分	輸出額	伸率	輸入額	伸率	差引額（▲は輸入超過）	伸率
清水港	1,991億円	▲6.5%	1,176億円	▲11.9%	815億円	+2.5%
	2ヵ月連続の減少		8ヵ月連続の減少			

		概況品名	金額	伸率			概況品名	金額	伸率
輸出	増加品目	(1) 自動車の部分品	195億円	+29.4%	輸入	増加品目	(1) その他の採油用種子	25億円	+97.8%
		(2) 二輪自動車類	238億円	+22.0%			(2) 事務用機器	18億円	2.4倍
		(3) 非金属鉱物製品	31億円	2.3倍			(3) 重電機器	25億円	+50.2%
	減少品目	(1) 無機化合物	9億円	▲88.3%		減少品目	(1) 魚介類及び同調製品	117億円	▲38.6%
		(2) 加熱用・冷却用機器	36億円	▲59.5%			(2) 液化天然ガス	71億円	▲29.5%
		(3) 電気計測機器	22億円	▲42.5%			(3) がん具及び遊戯用具	108億円	▲17.4%
主要地域増減	アジア、EU、アメリカが減少			主要地域増減	アジア、アメリカ、EUが減少				

（参考）ドルレートは、150.34円（前年同月比2.7%、3.91円の円安）であった。

（注）月間ドルレートは、税関長が公示する相場を当該相場が適用された日数で加重平均したもの。

注）本資料中の「伸率」及び「増減表記」は、前年同期との比較による。

2. 田子の浦港

区分	輸出額	伸率	輸入額	伸率	差引額 (▲は輸入超過)	伸率
田子の浦港	8億円	▲4.0%	30億円	▲34.2%	▲22億円	▲41.2%
	3ヵ月ぶりの減少		2ヵ月ぶりの減少			

		概況品名	金額	伸率			概況品名	金額	伸率
輸出	増加品目	(1) 精油・香料及び化粧品類	194百万円	2.5倍	輸入	増加品目	(1) とうもろこし	15億円	+10.3%
		(2) 写真用・映画用材料	258百万円	+35.0%			(2) 非金属鉱物製品	17百万円	全増
		(3) 無機化合物	71百万円	+31.2%			(3) 紙類及び同製品	3百万円	全増
	減少品目	(1) 金属鉱及びびくず	225百万円	▲39.1%		減少品目	(1) 石炭	—	全減
		(2) 有機化合物	—	全減			(2) 有機化合物	—	全減
		(3) プラスチック	14百万円	▲33.9%			(3) パルプ	76百万円	▲55.6%
主要地域増減	アジア、EUが減少、アメリカは増加				主要地域増減	アジア、EUが減少、アメリカは増加			

3. 御前崎港

区分	輸出額	伸率	輸入額	伸率	差引額 (▲は輸入超過)	伸率
御前崎港	382億円	+23.7%	22億円	+9.1%	361億円	+24.8%
	14ヵ月連続の増加		2ヵ月連続の増加			

		概況品名	金額	伸率			概況品名	金額	伸率
輸出	増加品目	(1) 自動車	253億円	+76.2%	輸入	増加品目	(1) 鉄鋼	12億円	+80.3%
		(2) 自動車の部分品	36億円	+28.1%			(2) 調製石油添加剤	409百万円	全増
		(3) 電気計測機器	206百万円	+64.7%			(3) 無機化合物	36百万円	12倍
	減少品目	(1) 無機化合物	810百万円	▲69.6%		減少品目	(1) 染料・なめし剤及び着色剤	—	全減
		(2) 原動機	574百万円	▲51.3%			(2) 木製建具及び建築用木工品	86百万円	▲40.7%
		(3) 楽器	32億円	▲5.6%			(3) プラスチック	13百万円	▲80.8%
主要地域増減	EU、アメリカが増加、アジアは減少				主要地域増減	アジアが増加、EU、アメリカは減少			

4. 静岡空港

輸出入実績なし